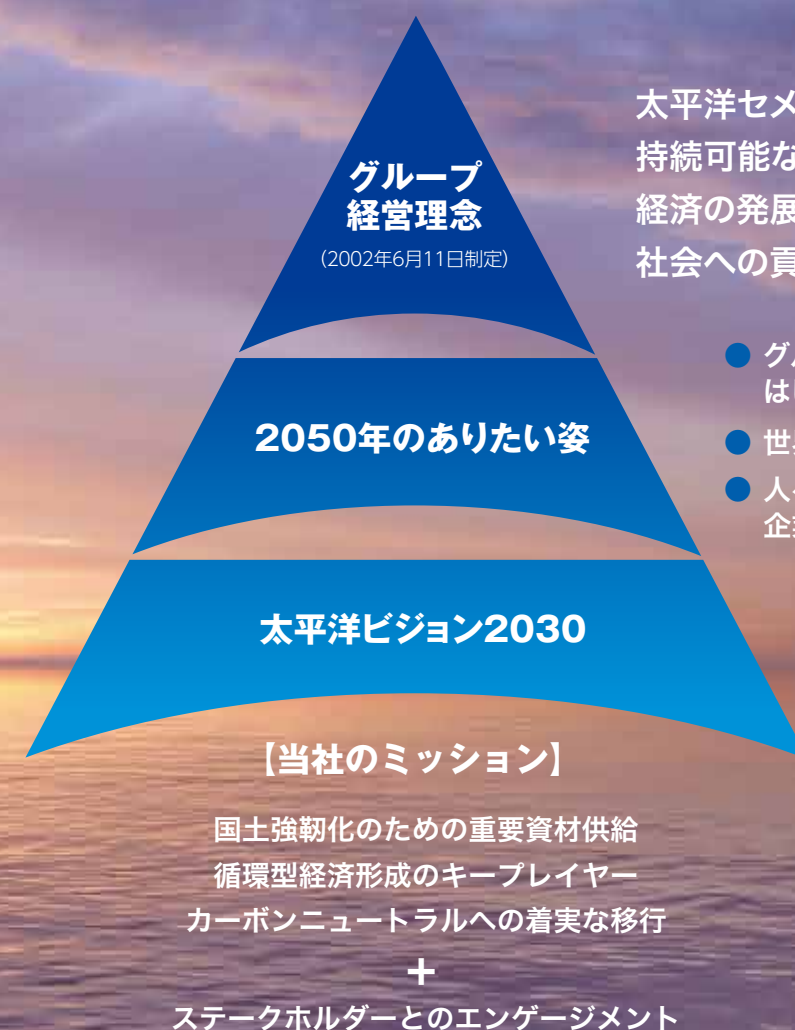


持続可能な発展を目指して

太平洋セメントグループは、事業活動を通じた社会課題の解決とその貢献を通じたグループの発展を目指します。

革
新
技
術
を
世
界
へ

太平洋セメントグループの価値観



太平洋セメントグループは、持続可能な地球の未来を拓く先導役をめざし、経済の発展のみならず、環境への配慮、社会への貢献とも調和した事業活動を行います。

- グループの総合力とカーボンニュートラル(CN)をはじめとする革新的な技術を全世界に展開する。
- 世界のセメント産業のリーダーとなる。
- 人々の安全・安心な脱炭素・循環型社会を支える企業グループになる。
- 環太平洋においてグループの総合力を活かしプレゼンスを拡大する。
- カーボンニュートラル実現とサーキュラーエコノミー実現に貢献する。
- 持続的に成長する強靱な企業グループとなる。

1881

小野田セメント

1883

浅野セメント

1923

秩父セメント

1947

日本セメント

1994

秩父小野田

1998



TAIHEIYO CEMENT

太平洋セメントのDNA

太平洋セメントは環境への配慮とともに、
経済発展と社会インフラを支え続けています。

1990（平成2年）～

太平洋セメントの誕生・
廃棄物処理の本格化

国内需要がピークアウトする荒波の中、
1998年に当社が発足しました。収益
改善策として廃棄物リサイクル事業を
本格化しました。



2000（平成12年）～

セメント事業の海外展開

米国や中国の既存拠点に加えて東南
アジアへの投資を加速し、環太平洋で
のセメント事業を構築しました。



2010（平成22年）～

構造改革による収益改善・
災害復興への協力

事業構造改革を断行し収益力の改善に
努めました。
災害廃棄物を受け入れ、被災地の早期
復興に協力しました。



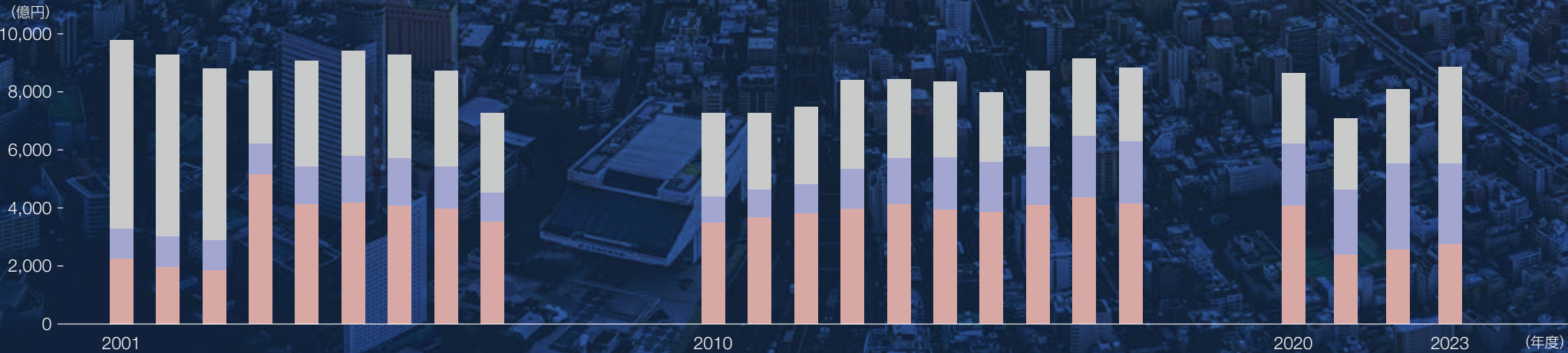
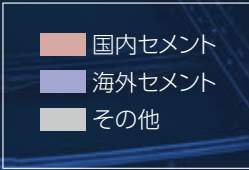
2020（令和2年）～

カーボンニュートラル
への取り組み強化

「カーボンニュートラル戦略2050」を
策定し、新たな成長戦略と位置づけた
革新技術の開発に取り組んでいます。



連結売上高推移



※ 連結売上高は海外事業情報開示開始以降の数値を掲載しています
※ 2004年度にセグメントの変更などを行っています
※ 2021年度より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しています

太平洋セメントの強み — 競争優位の源泉 —

太平洋セメントグループは、社会課題の解決に貢献するとともに、国内外の強固なサプライチェーンを通じて、高品質なセメント・石灰石を安定供給し続けることを社会的使命としています。

安全・安心な社会を支える セメント・石灰石のトップサプライヤー

当社グループは、環太平洋においてグローバルに事業展開していますが、特に日本国内においては、長い歴史をもつセメント・石灰石のトップサプライヤーです。セメント原料や生コンクリート用骨材などとなる石灰石を確保するため、100年先を見据えた鉱山の強靱化を進めています。安全・安心な社会を支えるセメント製品や石灰石を安定供給し続けることが当社の企業使命です。

世界トップレベルの セメント製造・廃棄物リサイクル技術

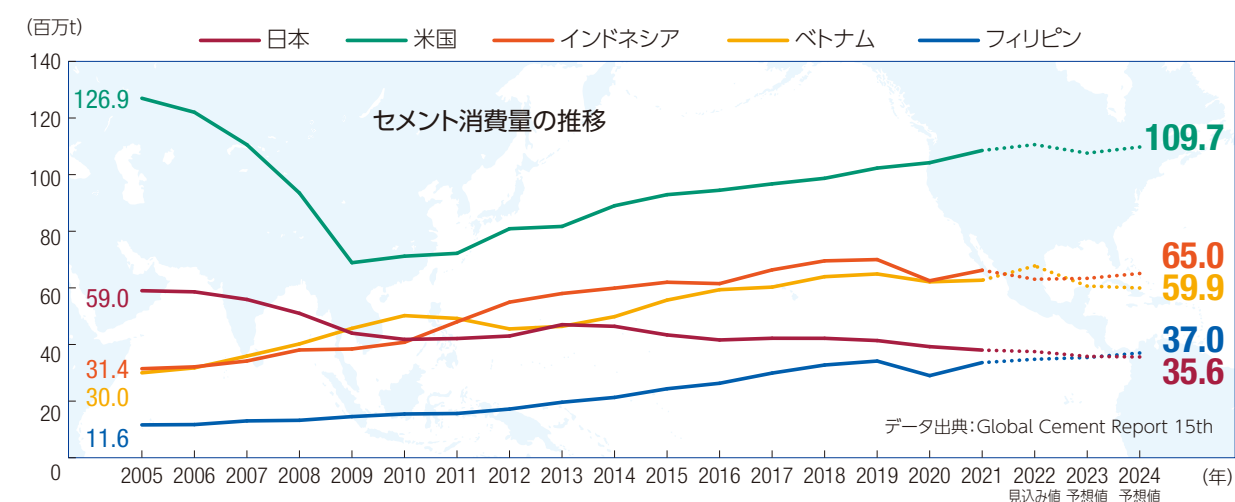
当社グループの国内セメント工場では、地域社会や他産業で発生する廃棄物・副産物に加え、自然災害などで発生した災害廃棄物もセメントの原燃料として受け入れ、循環型経済形成や被災地の復旧など社会課題解決のために貢献しています。廃棄物をリサイクルするために当社がもつ世界トップレベルの製造技術が活かされています。新たな廃棄物を発生させることなく、規格に適合したセメントを製造します。

多様性に富んだ人的資本

「人は企業にとって最大の資本」という考え方にに基づき、人的資本経営を推進しています。ワークライフバランスや健康経営を推進しウェルビーイングな職場づくりに取り組んでいます。また、多様な人材の活躍が新たな企業価値の向上につながるの思いから、ダイバーシティ&インクルージョンを推進するため、女性や障がい者などの雇用を含む様々な施策を実施するほか、従業員一人ひとりの成長を促進するための人材育成を進めています。

環太平洋の成長市場を取り込んだ グローバルネットワーク

これまでの成長投資の成果もあり、当社グループの売上高に占める海外比率は約4割に達しています。海外拠点も主力の米国に加え、成長市場であるアジア・パシフィック地域にも展開しており、日本を含めた環太平洋に強固なサプライチェーンを構築しています。今後も成長市場を取り込んだ事業ポートフォリオ強化やトレーディング事業拡大などにより、グローバルネットワークの一層の強化・拡充に注力します。



継続した成長投資を支える安定した財務基盤

当社は、23中期経営計画中の厳しい事業環境下でも成長投資を計画的に実行し、26中期経営計画でも財務規律を維持しながら成長投資を実行する予定です。これを支えるための財務戦略として、安定的な資金調達を行い、より強固な財務基盤を構築します。なお、財務健全性が評価され、発行体格付は前年度より向上しました。(JCR/A+, R&I/A)

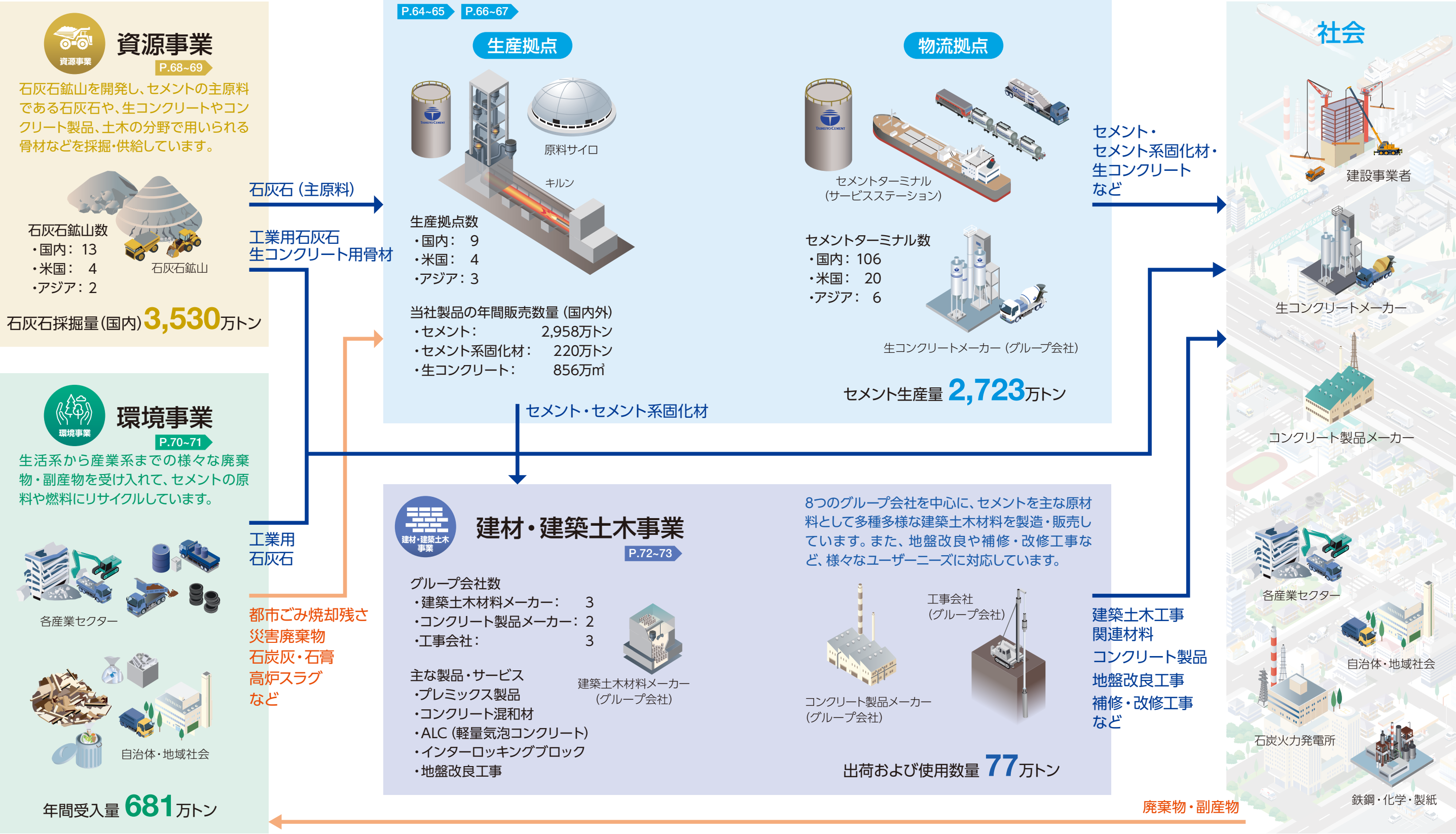
セメントの社会的価値

太平洋セメントグループは、廃棄物などをリサイクルしてセメントを製造することで、
廃棄物最終処分場延命などの「社会課題の解決」と「安全・安心な社会基盤の構築」に貢献しています。



ビジネスモデル

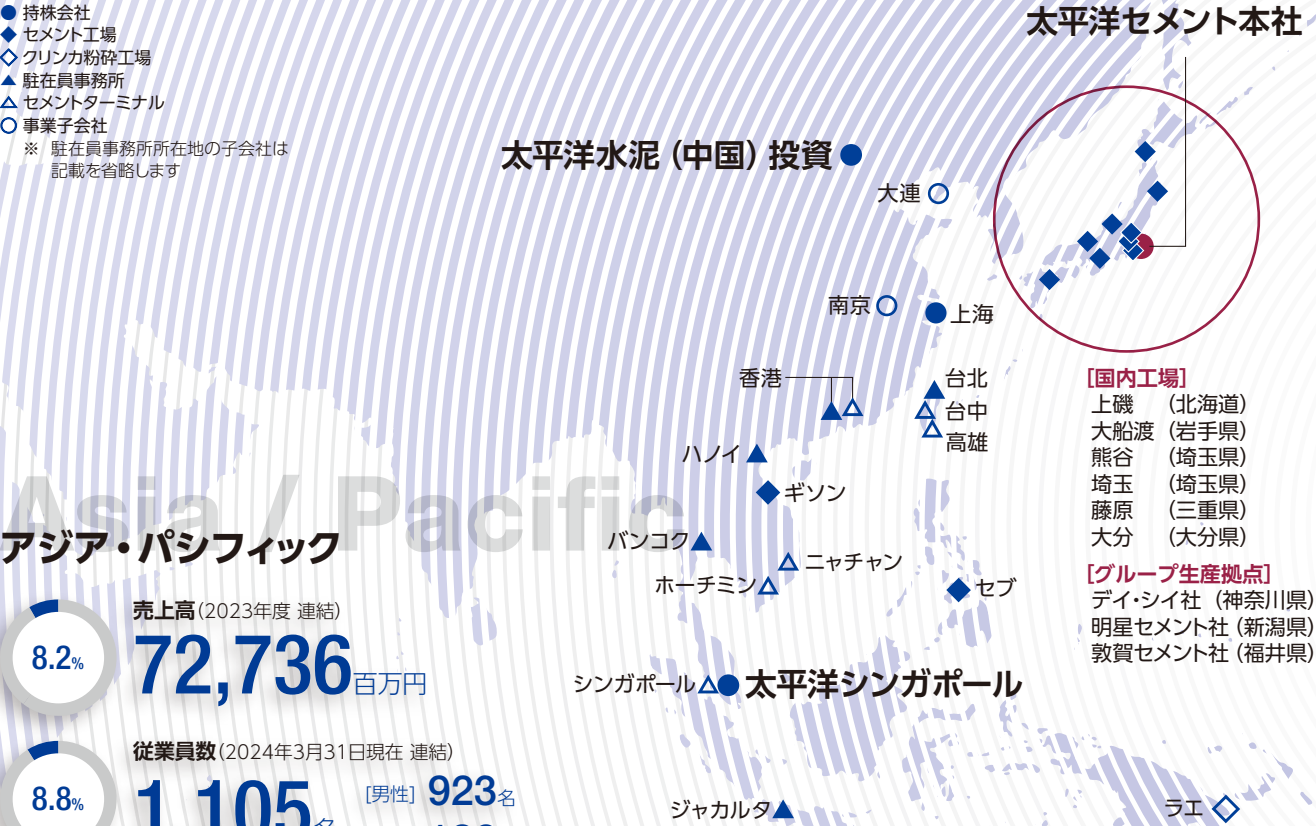
安全・安心な社会基盤構築のための
トータルソリューションを提供しています。



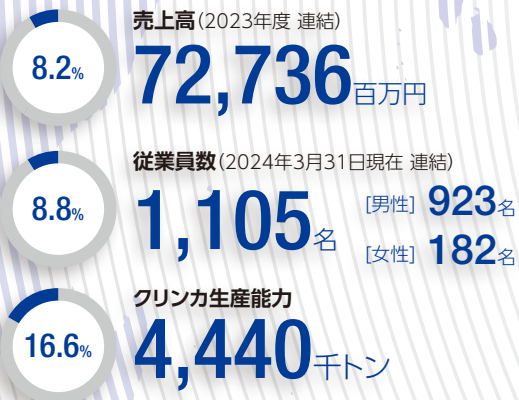
太平洋セメントグループのグローバルネットワーク

当社グループは、国内外に製造および物流拠点を展開し、セメント・資源製品の安定供給体制を構築しています。

- 持株会社
 - ◆ セメント工場
 - ◇ クリンカ粉砕工場
 - ▲ 駐在員事務所
 - △ セメントターミナル
 - 事業子会社
- ※ 駐在員事務所所在地の子会社は記載を省略します



アジア・パシフィック

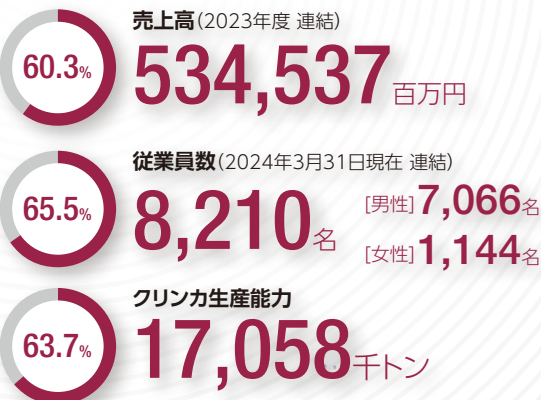


売上高 (2023年度)			営業利益	売上高 営業利益率
国内	海外	連結合計		
5,345 億円	3,517 億円	8,863 億円	565 億円	6.4%

ROE	営業キャッシュ・フロー	財務資本	
8.2%	1,405 億円	発行体格付 JCR	発行体格付 R&I
		A+	A



日本



セメント販売数量			石灰石採掘量 (国内)
国内	海外	合計	
1,296 万トン	1,662 万トン	2,958 万トン	セメント原料用・骨材・工業用
			3,530 万トン

人的資本	廃棄物・副産物の処理量	廃棄物・副産物の原単位
従業員数 (連結)	(国内セメント9工場)	(単体)
12,540 名	681 万トン	421.9 kg/トン・セメント